

# コミュニケーションツールの 活用と課題

TEAM 8人のうなぎ達

2009.7.8 大学職員情報化研究講習会

## Agenda

- 問題意識
- 現状分析
- 職員と学生のコミュニケーション
- 効果の確認方法・指標
- まとめ

2009.7.8 大学職員情報化研究講習会

## 問題意識

- 学生から教員へ連絡が取りたいと相談  
⇒ みなさんはどうしますか??  
⇒ 研究室の電話? 学内メール?  
⇒ 非常勤教員の場合は?

2009.7.8 大学職員情報化研究講習会

## 問題意識

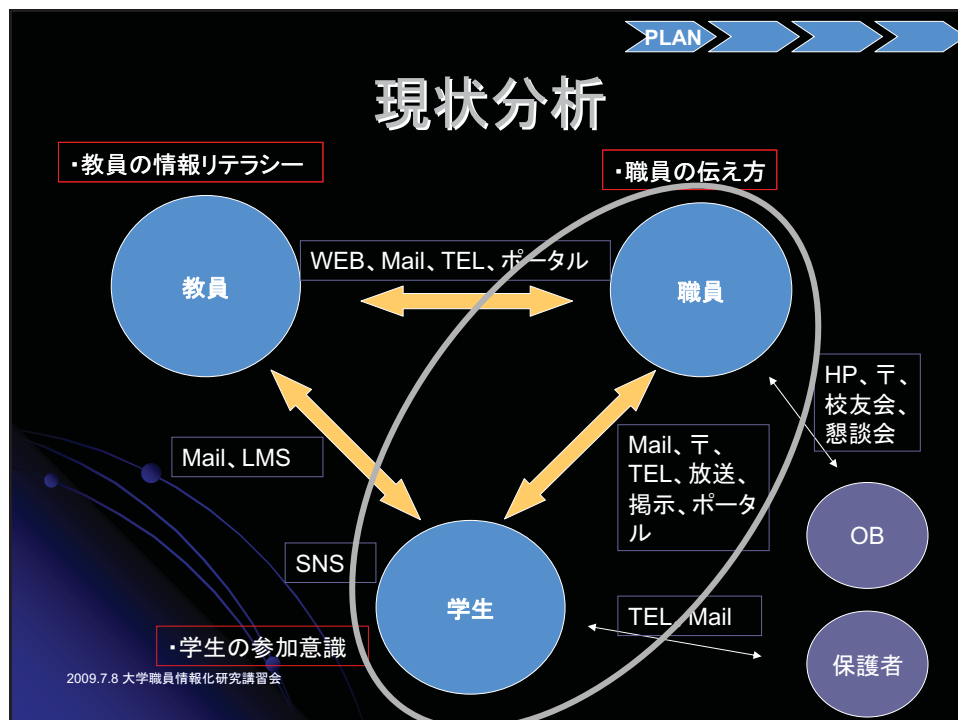
- テスト結果をWEBで採点する仕組みを取り入れたが、使用しない教員がいる。  
⇒ みなさんはどうしますか?  
⇒ 説明会? 講習会?

2009.7.8 大学職員情報化研究講習会

## 問題意識まとめ

- コミュニケーション手段が有効に活用されていないために、時間・手間のロス
- 多くの手段が存在する複雑さ
- 簡略化できるところを増やし、リアルなコミュニケーションの時間を増大させたい
- 教職員間での利用レベルのバラつき

2009.7.8 大学職員情報化研究講習会



## 現状分析からまとめ

- 教員の情報リテラシー(アレルギーないか)
- 職員の利用方法
  - ⇒適切な表現方法についての検討
  - ⇒適切な手段の選択
- 学生の参加意識の向上

2009.7.8 大学職員情報化研究講習会

## 職員と学生のコミュニケーション

	スピード	確実性	マス	個人	機密性	緊急性	評価
郵便	×	○	○	○	○	×	8
掲示	△	×	○	△	×	○	6
放送	○	△	○	△	×	○	8
ポータル	○	△	○	○	△	△	9
メール	○	△	△	○	×	△	7
電話	○	△	×	○	△	○	8

2009.7.8 大学職員情報化研究講習会

## 職員と学生のコミュニケーション

- 多数ある手段について、手順の統一化  
⇒例外を認めない
- 職員のスキル向上  
⇒情報の見せ方、伝え方
- 実態に合ったポータルサイトの構築

2009.7.8 大学職員情報化研究講習会

## 効果の確認方法・指標

- 手順・対応の統一化  
⇒研修・説明会を通じた稼働率の変化
- ルールづくり  
⇒アンケート、チェックリスト
- ポータルサイトの構築・改良  
⇒アンケート、稼働率の変化

2009.7.8 大学職員情報化研究講習会

## まとめ

- 技術の進歩により、様々なツールが存在するが、使う人間の変化も必要。
- 使えるところに、適切に使用して直接対話の時間、もしくはまとまった仕事の時間を生み出す。
- 10年後の学生はICTにアレルギーがあると思いますか？

2009.7.8 大学職員情報化研究講習会

## さいごに

- ご清聴ありがとうございました。

Thanks!

2009.7.8 大学職員情報化研究講習会